

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2026年3月20日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	国際日本学部・国際日本学科
留学(渡航)した時の学年	3年生
帰国年月日	2026年2月9日
明治大学卒業予定年月	2027年3月
留学先大学について	
留学先国	イギリス
留学先大学	ヨークセントジョン大学(日本語名) York st John University(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/英語
留学期間	2025年9月～2026年1月
留学先大学で在籍した学年	3年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input checked="" type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4月上旬～7月下旬 2 学期: 9月中旬～2月上旬	1 学期: 9月下旬～1月末 2 学期: 3 学期: 4 学期:
学生数	約7000人
創立年	1841年

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (£) (1 現地通貨 = 約 208 円)	B 日本円	備考
授業料	0	0 円	協定留学だったためなし
宿舍費	約 2400 £	約 500000 円	
食費	約 1442 £	約 300000 円	
図書費	0	0 円	
学用品費	0	0 円	
携帯・インターネット費	約 240 £	約 50000 円	
現地交通費	0	0 円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	240 £	50000 円	
旅費(留学中)	約 4800 £	約 1000000 円	15 か国、イギリス内でもたくさん旅行
被服費	480 £	約 100000 円	服集めが趣味なのでたくさん使いました
医療費	0	0 円	
保険費	0	0 円	形態: 学校で義務付けられたもの
渡航旅費	約 1057 £	約 220000 円	
ビザ申請費	約 48 £	約 10000 円	
雑費	0	0 円	
その他	0	0 円	
その他	0	0 円	
合計 ※現地通貨 および 円	(= 10721 円)	約 2230000 円	
総計(A+B) ※円		2230000 円	

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

渡航関連

渡航経路
往路 出発地：日本 目的地：イギリス 経由地：ドーハ 復路 出発地：イギリス 目的地：日本 経由地：ドーハ
渡航費用
① 往復チケットを購入した場合 航空会社：カタール航空 料金：約 22 万円 ② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社： 料金： 復路 航空会社： 料金： ∴合計：
航空券購入方法
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名：) <input type="checkbox"/> インターネット(サイト名：) <input checked="" type="checkbox"/> その他()
滞在形態関連
1) 種類(留学中の滞在先)(例：アパート、大学の宿舎等)
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前： ライムズコート) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
2) 部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数)
3) 共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
4) 住居を探した方法:
学校からメールが来ました。
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
ライムズコートがおすすめです。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所: 自力)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

5) 現地での資金調達はどうに行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

薬、コンタクト、鍋の元、ふりかけ、コンソメ、出汁、サランラップ、ヒートテック、包丁(現地で買うのがすごく難しいです。)

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
6 単位		<input type="checkbox"/> 未定単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限		
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input checked="" type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input checked="" type="checkbox"/> 履修の制限があった: 3 授業まで		
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
		国際政治経済学
科目設置学部・研究科		
履修期間	2025. 9～2026. 1	
単位数	20	
本学での単位認定状況	未定単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義、ディスカッション(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 60. 120 分が各 1 回	
担当教授	クリストファー教授	
授業内容	国際政治経済学を	
試験・課題等	二つ	
感想を自由記入	少人数体制だったので質問がしやすく、難易度もちょうどよかったです。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
	英国政治における選挙と有権者
科目設置学部・研究科	
履修期間	2025. 9～2026. 1
単位数	20
本学での単位認定状況	未定 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、ディスカッション(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に120.60分が各1回
担当教授	クリストファー教授
授業内容	英国における選挙と有権者の実態を実例なども鑑みながら学びました。
試験・課題等	レポート提出が二回ありました。
感想を自由記入	この授業は専門的な知識を要するディスカッションが多かったので、ついていくのに必死でした。ただ、イギリスに住む同世代の学生からイギリスの政治についての意見をたくさん聞くことができたので、非常に有益な機会になりました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
	宗教と政治
科目設置学部・研究科	
履修期間	2025. 9～2026. 1
単位数	20
本学での単位認定状況	未定 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、ディスカッション(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に60, 120分が各1回
担当教授	
授業内容	この授業では政治と宗教の関係性についてグローバルに幅広く学びました。
試験・課題等	プレゼン一回、レポート一回
感想を自由記入	この授業は一年生から繰り上げの授業だったらしく(この授業自体は2年生のもの)もうグループができていて、その輪の中に入るのが難しかったです。授業としてはグローバルに多角的な視点から様々な事例を取り扱ったので、学びが多かったです。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

2) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

マイナビ

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

未定

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

切り替えが大事です。私は帰国後、毎日就活しています。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1月～3月	事前学習
	4月～7月	事前学習
	8月～9月	事前学習
	10月～12月	選考
留学開始年	1月～3月	事前学習
	4月～7月	事前学習
	8月～9月	ビザ申請、航空券購入
	10月～12月	留学開始
留学/帰国年	1月～3月	試験、留学終了
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生活全般等について、アドバイスを記入してください。

私がイギリスへの留学を決意した理由が英語力をのばしたい(特にスピーキング能力)、と政治経済の勉強をしたいというものでした。なので、選考の際の志望大学先は、ヨークセントジョン大学以外は私の GPA で行くことのできる英語圏の大学で埋めていましたが、運よく第一志望の大学に行くことができました。

3 年生での留学ということもあって、就活との両立が自分にできるのか不安でしたが、日本では限界のある「異国の地で、その場所に住む人と会って、話して、文化を感じる」ということを体験したくて、決意しました。(留学中の同時進行でインターンに参加するのは本当につらかったです。しかし、三年生で留学したことに悔いはありません。1、2 年生で明治大学の方で起訴を積み上げてからの留学だったのでより理解が深まった気がします。)

半年間の留学は本当に長くて、夢みたい毎日で。日本に帰ってきてからも現実味がないです。イギリスでの毎日は大変なことはもちろんありましたが、それよりも刺激と発見と学びの多い日々でした。共同生活の寮での生活におびえていましたが、フラッツとメートの子たちは全員親切でしたし、すぐに多国籍の友達ことができました。

完璧に英語ができるわけではないので、間違ってもいいから必死でコミュニケーションをとっていくうちに、スピーキング力は上がったと思います。友人や両親に英語力が上がったといわれてすごうれしかったのを覚えています。また、ヨークセントジョン大学は本当に様々な国からの学生を留学生として受け入れているので、多文化交流ができたのもよかったです。最終的にはノルウェー、韓国、中国、カナダ、アメリカ、ロシアからの留学生の子たちと友達になれました。

一方で楽しかった反面、私の目的達成的には一年ではなくて半年で十分だったような気がします。半年、といっても実質 5 か月なので、毎日目的と目標をもって生活できていたと思います。陸上に例えるなら私は中距離走が一番得意なので、半年間、という期間が私の性質にとってもあっていたような気がします。これから留学を考えている方は、自分の目的と性質に合った留学スタイルが選べることであればより有意義になるのではないかと思います。

また、私はモチベーションを維持し続けるために留学している同世代の学生のティックトックやユーチューブを見ていました。最初から留学を成功させている人なんかなくて、みんな創意工夫して、なんとか自分のものにしようとしているんだなと勇気づけられました。彼らは日本人でしたので、日本語で見えていましたが、留学中も日本語を 100%シャットアウトするのではなく、たまには気分転換に聞いてもいいと思います。留学中に何回か日本人だけで集まって日本語の会を開いてストレス発散をしていました。

また私の日常をインスタグラムにて記録していたので、参考になれば幸いです。アカウント名@youngwish87 です。留学は、行く人の姿勢次第で、得るものが本当に変わってくると思います。これから留学される皆さん、頑張って、楽しんで、いい思い出にしてください。